委員会活動計画

◎研修・規定委員会

委員長　中　川　雄　策

鶴見地区ガバナーは、「私たちはロータリアンです。どうあるべきか、何をすべきか。」と投げかけ、「行動することに意味がある」と活動方針を示されています。

吉川第一分区ガバナー補佐は、活動方針のなかで「奉仕事業への積極的な参加」と「より一層の親睦を深める」と掲げられています。

伊戸川クラブ会長は、クラブの賑わいをコロナ前の状況に戻すことを最優先に、様々な行事を会員の皆様とともに実践していきたい、と方針を示されました。

クラブを導く三者の活動指針に沿ったクラブ(例会・奉仕)活動となるよう、各委員会と連携を取り合い、楽しく・活力あるクラブ運営を目指します。

また、国際ロータリーならびに地区が推進しているＤＥＩやＲＬＩについて、研修会を実施したいと思います。

◎会員委員会

委員長　田　辺　　浩
副委員長　中　田　伸　也

1．会員への紹介依頼や、奉仕団体未入会者への入会勧誘を行い、会員増強に努める。
2．他委員会と協力し退会会員を出さないよう努めたり、転勤等による退会会員には後任者の入会を依頼する等して会員数の減少を防ぐ。
3．例会時の席の固定化を防ぎ、会員相互の親交を深める。
4．出席率１００％の会員を表彰する。

◎家族・親睦委員会

委員長　谷　原　一　郎
副委員長　佐々木　拓　哉
副委員長　増　田　直　輝
副委員長　山　崎　直　彦

家族・親睦委員会は、会員相互の一層の親睦を図ると共に会員・家族が楽しめるように活動します。

1．家族親睦ゆかたパーティー（サフィールホテル稚内）		７月１３日（木）
2．みなと南極踊り		８月　５日（土）
3．家族親睦野遊会		９月１４日（木）
4．秋！味覚の会（車屋源氏）		１０月１２日（木）
5．名士カラオケ歌謡祭		１２月　２日（土）
6．年末家族親睦夜間例会（サフィールホテル稚内）		１２月１４日（木）
7．新年家族親睦夜間例会（サフィールホテル稚内）	２０２４年	１月１１日（木）
8．稚内南ＲＣとの合同夜間例会（サフィールホテル稚内）		２月１９日（月）
9．ローターアクトとの合同夜間例会（車屋源氏）		３月１４日（木）
10．春！味覚の会（サフィールホテル稚内）		５月１６日（木）

◎公共イメージ向上委員会

委員長　谷口　衛
副委員長　杉川　毅
副委員長　説　洋平

1．会長の活動指針の元で当クラブの活動内容を積極的に発信して地域社会へ正確に周知することに努める。
2．ロータリークラブの役割を内外に周知するために、メディア等にて活動紹介の発信を推進し、露出の機会を増やして活動を奨励する。
3．会報作成に当たっては単色８ページを基本として定期的に会報を発行し、公式記録に相応しい内容とする。
4．各委員会と連携してクラブホームページの内容充実を進めてより良い情報の発信を模索する。

◎プログラム委員会

委員長　船谷　守
副委員長　山本泰照
副委員長　杉川　毅

本年度のプログラムは、クラブの賑わいをコロナ前の状況に戻す事を最優先とした会長指針に沿って、各委員会との連携の中で企画実施を行い、楽しい例会になるよう努めたいと思っております。

◎ＳＡＡ

ＳＡＡ　茶野下好春
副ＳＡＡ　石塚英資

例会進行を円滑に行う。厳粛のなかで、楽しい明るい会場設営に心がける。
1．会長・幹事・関連委員会と連携し、スムーズな例会運営をする。
2．ゲスト・ビジター・講師のご案内をする。
3．バッジを着用し、ロータリアンとしての自覚を持つ。
4．先輩会員のご指導を仰ぎ稚内ロータリーらしい運営に努める。

◎会計

会計　田辺　浩

1．クラブ細則に従って全ての資金を適切に保管管理し、クラブ財政の健全性を保つ。
2．幹事、各委員会との連絡を密にし、クラブの収支及び財政状態の会員周知に努める。

◎国際・職業・社会奉仕委員会

委員長　櫻　井　久　子
副委員長　山　崎　雅　史
副委員長　品　田　新　一

1．職業奉仕はロータリーの奉仕に於いても重要な意味を持つと考えられておりますので、日々の職業活動に実践し活かします。
2．第２５００地区から国際・職業・社会奉仕活動に係る要請などがあった際には、速やかに会員に情報の伝達をします。
3．社会奉仕活動としての植樹祭や清掃活動や交通安全の街頭啓発運動などに積極的に参加していきます。
4．地道な職業･社会奉仕活動を行っている個人や団体の中から「職業奉仕賞」や「社会奉仕賞」を選定し、贈呈します。

◎新世代・青少年委員会
（ローターアクト委員長）

委員長　曽　根　英　樹
副委員長　中　川　雄　策

1．ローターアクトの会員数が減少傾向にある為､前年度に引き続き会員増強を目指して行く。
2．アフターコロナ・ウィズコロナ１年目として、改めてアクトクラブとの交流を増やし（互いの例会に出席する。奉仕活動を共にする）、盛り上げる行動をする。
3．例会時、委員会報告でアクト例会を報告する。

◎ロータリー財団委員会

委員長　吉　田　幸　麿
副委員長　藤　田　幸　洋

財団の「未来の夢計画」により、財団が実施する各種の補助金が従来に増してより効率的効果的な事業になるよう配慮されております。
その最新情報を提供し、財団に対する協力を推進する。
1．ロータリー財団の活動に対する協力を推進するため、財団に関する情報提供をする。
2．財団の補助金を有効に活用するため、過去の活用例と申請状況等検証する。